

文化ナビ

〒 757-0002 山陽小野田市大字郡 1754 番地 ☎ 71-1000 FAX71-1002 E-mail:bunka-kaikan@city.sanyo-onoda.lg.jp

文化の薫るまちになあれ…
不二輸送機ホール
(山陽小野田市文化会館)
休館日：第1・第3火曜日

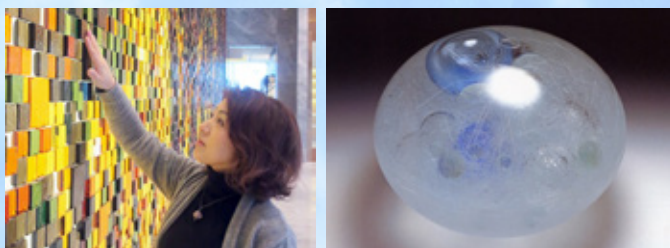
ガラス探訪アーカイブス

山陽小野田市とガラス

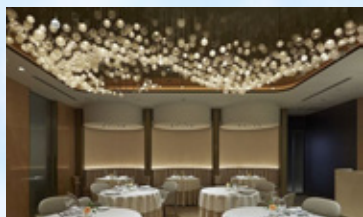
このコーナーでは、本市が所蔵する現代ガラス作品とガラス作家を紹介します。

第3回 池本 美和 (ガラス作家)

平成13年(2001年)から3年に1度開催する「現代ガラス展」。「第1回現代ガラス展 in おのだ」にて準大賞を受賞したのが池本美和さんの「Aqua #3」です。池本さんは、富山ガラス造形研究所を卒業後、富山ガラス工房にて制作スタッフとして勤務しながら、創作活動をされていました。「透明のガラスにこだわり、生命の源となる水と、光と影の濃淡がおりなす現象」に主眼を置いて創作活動をされています。透明なガラス、そして淡い色使いのガラスなど、きらきらと輝くガラスに繊細な技法を施し、水・光・影等による自然な変化を映し出す作品を数多く制作されています。受賞後、国内だけでなく、海外においても、ガラス壁画制作・アートワーク、シャンデリアほか、照明制作等も手掛けられ、本市においては、山陽小野田市民病院にて「756人による山陽小野田市の自然」イベント企画によるガラス絵画制作にも、ご尽力いただいたひとりです。自身の創作活動の傍ら、きららガラス未来館の若手ガラス作家の指導・育成、ガラス体験学習の技術講師としてもご尽力いただき、本市のガラス文化の発展を牽引するひとりとして活動されています。



【Aqua #3】(写真右) 気泡入りのガラス球、塊の球体、細いガラス棒などが大きな球体に封じ込められた作品です。施されたカット模様やそれぞれのレンズ効果が、光の微妙な屈折や揺らぎを生み、不思議な空間を醸し出しています。



【銀座レカン】(写真左下)

シャンデリアほか、照明、テーブルウェアを「永遠」というテーマで制作。また今夏リニューアルオープンするANA インターコンチネンタル石垣リゾートでは、エレベーターホール各階にオブジェが設置されます。

COLUMN

むすめふさほせ

競技かるたを初めて見る人は、上の句の最初の1, 2字を聞いただけで、選手が札を払っているスピードにとっても驚かれます。また、100首全ての和歌を覚えなければいけないのではないかと、苦手意識をもたれる人もいます。確かに100首全て暗記し、歌の情景を思い浮かべながら百人一首を楽しむのはとても素敵なことですね。でも実際の競技かるたでは、一枚一枚の札を和歌として鑑賞しながら取っているわけではありません。選手たちは、「きまり字」というものを覚え、瞬時に音を聞き分けて札を取っています。最初の1字を聞いただけで取ることができる札を「1字きまり」といいます。1字きまりは、「む・す・め・ふ・さ・ほ・せ」の7枚あります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、この夏の競技かるたの大会等も中止を余儀なくされました。ご家庭で過ごす時間が増え、家族での会話が増えた方も多いと思います。ステイホームの時間の使い方の一つとして、ぜひこの7枚の歌を調べて、家族みんなで覚えてみるというのも有意義ですね。



小野田高等学校小倉百人一首かるた部
顧問 青池 のぞみ